

HAKKO FT-801

ワイヤストリッパー

取扱説明書

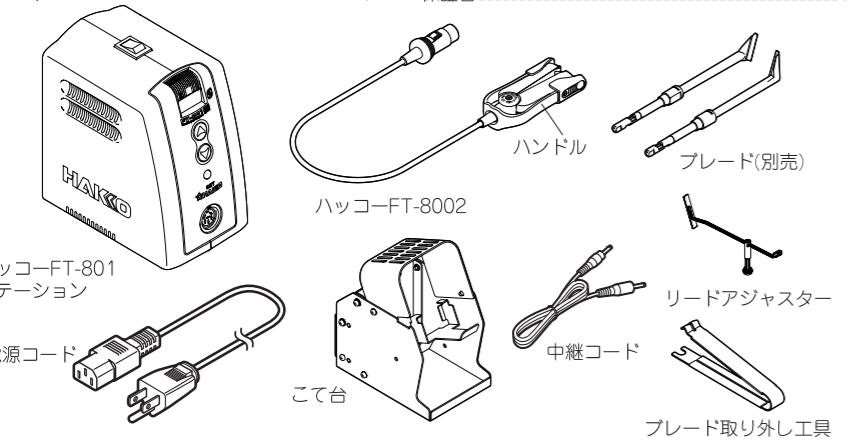
このたびはハッコーFT-801をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

お使いになる前に必ず本書をお読みください。

お読みになった後も、後日お役に立ちますので大切に保管してください。

1. セット内容と各部名称 最初にセットの内容をご確認ください。

ハッコーFT-801ステーション	1
ハッコーFT-8002	1
リードアジャスター	1
電源コード	1
中継コード	1



2. 仕様

● ハッコーFT-801	
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	68W (100V)
● ステーション部	
出力	24V
外形寸法	80(W) × 130(H) × 131(D) mm
重量	1.2 kg

注記:

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
※本製品は静電気対策が施されています。

△ 注意

本製品は、プラスチックへの導電性付与、こて部・ステーション部の接地といった静電気対策が施されていますので、下記の注意を厳守してください。

1. ハンドルなどのプラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行なうこと。
2. 必ず接地して使用すること。

※ 各言語（日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語）の取扱説明書は以下のURL、HAKKO Document Portalからダウンロードしてご覧いただけます。
(商品によっては設定の無い言語がありますが、ご了承ください)
* 各國語言(日語, 英語, 中文, 法語, 德語, 韓語)の使用説明書を以て以下網站的HAKKO Document Portal 下載參閱。
(有一部分的產品沒有設定外語對應, 請見諒)
Instruction manual for the language, Japanese, English, Chinese, French, German and Korean can be downloaded from the following URL, HAKKO Document Portal.
(Please note that some language may not be available depending on the product.)

https://doc.hakko.com

HAKKO

白光株式会社

http://www.hakko.com

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

部件名稱	有毒有害物質或元素的名稱及含量					
	鉛(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六價鉻(CrVI)	多溴聯苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
導線調節器	×	○	○	○	○	○
電路板	×	○	○	○	○	○
手柄	×	○	○	○	○	○
插頭	×	○	○	○	○	○
插座	×	○	○	○	○	○

○: 表示該有毒有害物質在該部件所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006標準規定的限值要求以下。
×: 表示該有毒有害物質至少在該部件的某一個均質材料中的含量超出SJ/T 11363-2006標準規定的限值要求。

2016.6

MA01977XZ160606

3. 安全及び取扱い上の注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

- △ 警告: 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
△ 注意: 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注記: 説明中の工程で重要な手順や事項を示しています。

安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

△ 警告

電源を入れると、ブレード温度は約100~800°Cの高温に達します。
取扱いを誤ると、やけど、火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ブレード周辺の金属部分に触れないでください。
- 燃えやすいものの近くで使用しないでください。
- 周囲の人々に「高温につき危険である」とことを知らせてください。
- 使用を中断または終了する時や、その場を離れる時は電源を切ってください。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してください。
- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者（子供を含む）がこの製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。

事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

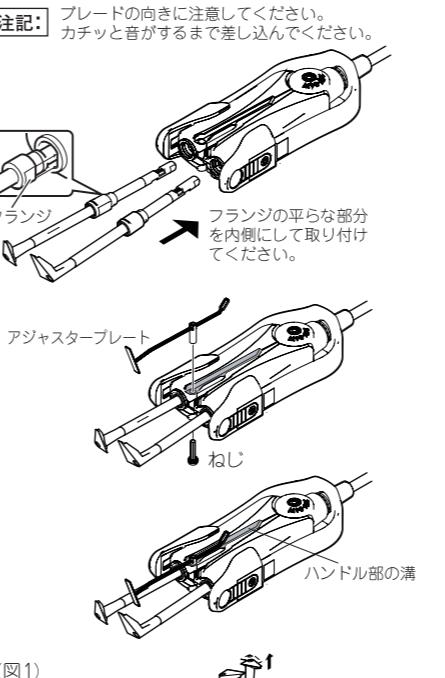
△ 注意

- ワイヤストリッパー以外の用途で使用しないでください。
- 剥離かすを取るために、ブレードを作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 本品を改造しないでください。
- 製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- ワイヤストリッパーを使用する際、煙が発生するので、よく換気を行なってください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 組み立て

● ブレード取り付け

1. ブレードの取り付けはフランジが、ハッコーFT-8002にロックされるように差し込みます。カチッと音がするまでブレードを差し込んでください。(右図参照)



● リードアジャスターの取り付け方法

1. リードアジャスターに付いているねじを取り外します。
2. ハンドル部の穴にリードアジャスターの支柱を差し込みます。ハンドル部の溝にリードアジャスターを合わせ、ねじで軽く締めます。長さを調節し、ねじをしっかりと締めます。

注記:

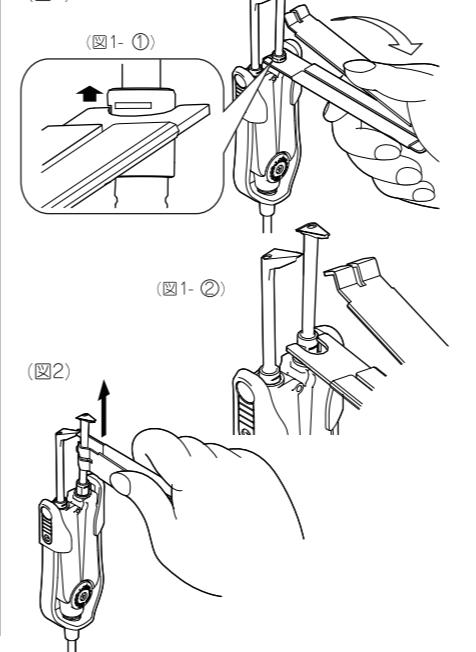
リードアジャスターを取り付ける際はブレードの向きに注意してください。(右図参照)
ブレードの面とアジャスタープレートの先端が平行になるように取り付けてください。

● ブレードの取外し

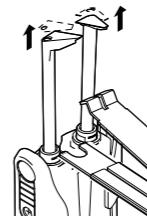
1. 電源を切り、ブレードが冷めるのを待ちます。
2. フランジ部分をブレード取り外し工具でひっかけ、てこの原理で浮かせます。(図1)
3. ブレード取り外し工具でブレードをはさみ取り外します。(図2)

△ 注意

- ブレードを抜き差しする際は必ず電源を切ってください。
- ブレードを抜く時は、ブレードが十分に冷めているか確認してください。
- ブレードが冷めている状態でも、ブレード取り外し工具を必ず使用してください。
- ブレード取り外し工具の先端を持たないでください。

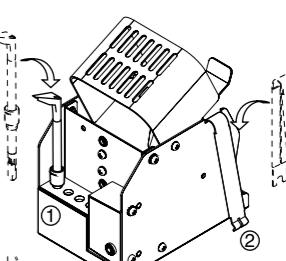


4. 組み立て



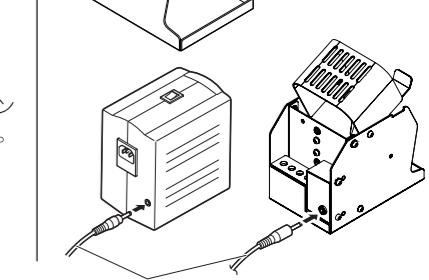
△ 注意:
ブレードを取り外し工具を使用しない場合は、①のように置いてください。

△ 注意:
ブレードを2本同時に取り外す場合は、ブレード取り外し工具で両方のブレードのフランジにひっかけて、取り外してください。



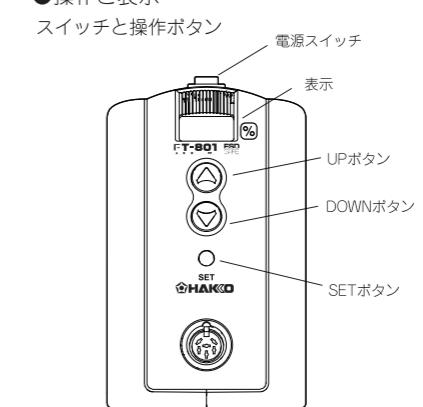
△ 注意:
ブレードを取り外し工具を使用しない場合は、②のように置いてください。

△ 注意:
ハンドルを握った状態で奥まで差し込んでください。



5. 使用方法

● 操作と表示



△ — 長押しすると出力設定の変更が出来ます。
表示されている値を上げます。

△ — 長押しすると出力設定の変更が出来ます。
表示されている値を下げます

○ — 長押しすると出力設定の変更が出来ます。
データ入力値を決定し、そのデータ入力モードを終了します。

△ 注意:
● 工場出荷時は50%にセットしてあります。
● ブレード部は高温になりますので、使用しない時はこて台に置いてください。

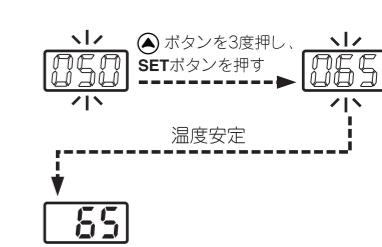
※出力設定値は以下のワイヤ材質表示内容を参考に設定してください。

材質	出力設定(%)
PVC	10
PE	10
PA	20
PVDF	30
ETFE	40
SI	45
PTFE	55

● 出力設定/変更

例: 出力50%から65%に変更する場合

1. ▲, ▽, SETボタンのいずれかのボタンを2秒間長押しします。
点滅になり、出力変更モードに入ります。
2. ▲または▽ボタンを用い、
数値を決定します。希望の数値が表示されたらSETボタンを押します。
数値が点滅から点灯に変わると、使用可能です。



△ 注意:

出力設定範囲は5%~100%です。
出力は、5%ごとに設定することができます。

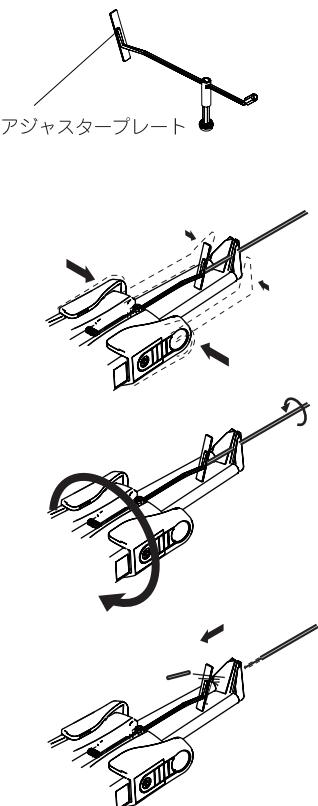
5. 使用方法

●リードアジャスターの使用方法

リードアジャスターはワイヤの剥離長さを設定するための治具です。ブレード先端と、アジャスタープレートの間を剥離したい寸法に合わせてねじを締め固定します。(設定できる剥離寸法は1~25mmです。)

●ワイヤの被覆部の除去

1. ワイヤの先端をリードアジャスターに合わせます。
2. 剥離するワイヤ径に合わせてブレードでワイヤをはさみます。はさんだ部分は熱で溶けます。
3. ワイヤとブレードを回転させて剥離部分に万遍なく熱が行き渡るようにします。
4. 剥離部の端に向けてブレードを引きます。



6. パラメータ設定

●パラメータ入力モードの流れ

パラメータ入力モードは次の通りに行います。

①ⒶとⒷボタンを押しながら、電源ON
パラメータ入力モードへ移行します。

②パラメータ番号を選択します。
最初はパラメータ番号「14」が点滅します。ⒶまたはⒷで数値の変更をします。
Ⓐを押すと「19」→「02」→「18」の順に表示されます。Ⓑを押すと逆の順序で表示されます。
パラメータ番号を選択し、SETボタンを押すとパラメータ設定内容に移行します。

③パラメータ設定内容を選択します。
最初は現在の設定が表示されます。パラメータの内容は、ⒶまたはⒷボタンを使って入力します。最後にSETボタンを押すと、パラメータ番号の選択へ戻ります。

必要なパラメータを設定したら、②～③の操作中にSETボタンを長押しします。
ⒶとⒷボタンを表示が切り替わり、パラメータ入力モードを終了するか聞いてきます。

Ⓐを選択し、SETボタンを押すとパラメータ入力モードを終了します。
注記：
Ⓐ、Ⓑボタンを押すことで表示を「Ⓐ」、「Ⓑ」に切替えることができます。
Ⓑを選択した時は、再度②のパラメータ番号の選択画面へ飛びます。

●ハッコーFT-801は以下のパラメータを持っています。

	パラメータ番号	LED表示	設定内容	初期値
パラメータ設定	14	Ⓐ or Ⓑ or Ⓒ	Ⓐ:無効 Ⓑ:一部有効 Ⓒ:有効 A,b,C,d,E,F(3桁)	Ⓐ:無効
出力上限設定	19		5%ごとに設定	80
オートスリープ時間設定	02	Ⓐ ~ Ⓑ	Ⓐ:無効 Ⓑ ~ Ⓑ:有効時間 (min)	15(min)
オートシャットオフ設定	18	Ⓐ ~ Ⓑ	Ⓐ:無効 Ⓑ ~ Ⓑ:有効時間	15(min)

14: パスワード設定

パスワードを設定すると、出力設定値やパラメータ設定値をロックする事が出来ます。パスワードは、A,b,C,d,E,Fの6種類の文字を3桁組み合わせにより設定します。パスワードの設定は3段階に分かれます。

Ⓐ:無効(ロックなし)

Ⓑ:(パラメータ設定にパスワードロックされる。出力設定はロックされないが、出力上限設定が有効になり、設定した値以上の出力設定が出来ない。)

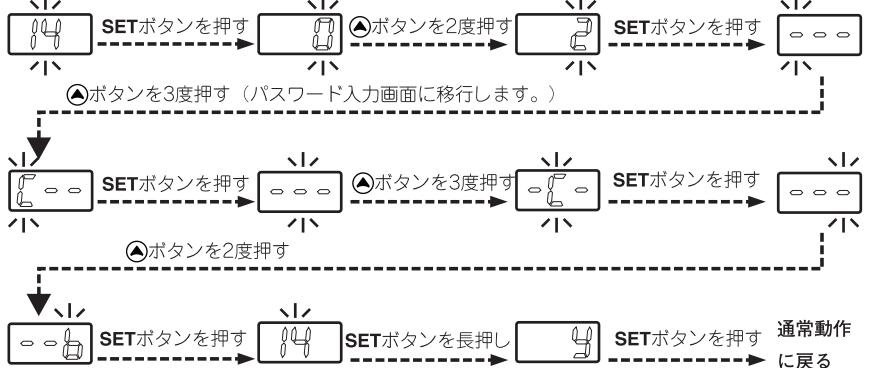
Ⓒ:(出力設定、パラメータ設定すべてにロックされる。)

6. パラメータ設定

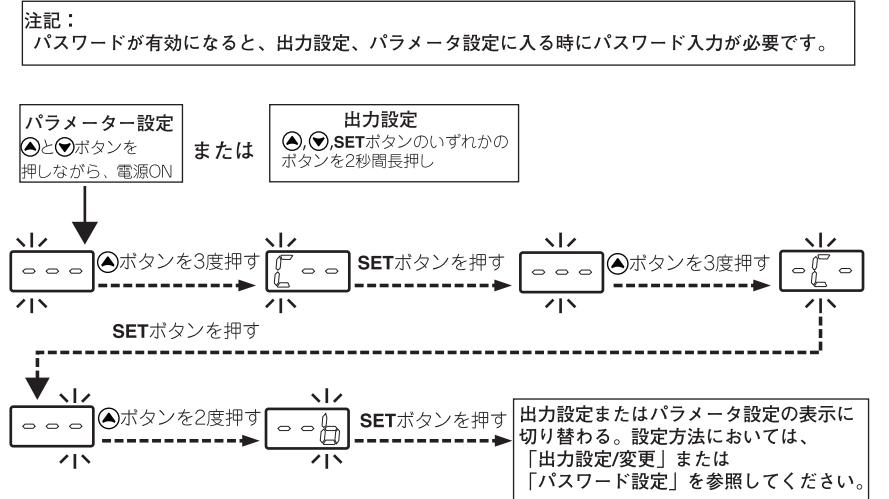
14: パスワード設定

1. 設定方法 (パスワード有効時)

例) パスワードを「123」に設定する場合。下図を参考にパスワードを設定する。



2. 入力方法 (パスワード有効時: パスワード「123」の入力)



19: 出力上限設定

パスワード設定モードが「1」(一部有効)または「2」(有効)の時に働きます。
パラメータ設定にて設定した値以上に出力設定が出来なくなります。
設定値が“80”的場合は出力設定値は“80”が上限となります。

02: オートスリープ時間設定

オートスリープとは設定出力の約50%セーブし、ブレード温度を下げ消費電力を下げます。
また、ブレードの寿命を伸ばします。ハンドルをこて台においてから、オートスリープ機能が働くまでの時間を設定します。

表示：SLP点灯

Ⓐ: オートスリープ無効
Ⓑ ~ Ⓑ: オートスリープの時間は1分単位で設定できます。(最大30分)

注記：
本体とこて台を中継コードで接続していない場合はオートスリープ機能は働きませんので、必ず接続して下さい。オートスリープ機能が働いている際は、こて台からハンドルを取り上げるか、ⒶまたはⒷを押すことで復帰します。

18: オートシャットオフ設定

ハンドルをこて台において、何もしないまま一定の時間が経過した際に、オートシャットオフ機能が働きます。出力がオフし、待機状態になります。

表示：---点灯

Ⓐ: オートシャットオフ無効
Ⓑ ~ Ⓑ: オートシャットオフ有効(設定した数字はスリープ後にオートシャットオフ機能が働くまでの時間です。)
オートシャットオフの時間は1分単位で設定できます。(最大30分)

例) オートスリープ 10分設定 / オートシャットオフ 20分設定



△注意

オートシャットオフの状態で長時間放置しないでください。長時間使用しない場合は必ず電源を切ってください。

注記：
本体とこて台を中継コードで接続していない場合はオートシャットオフ機能は働きませんので、必ず接続して下さい。オートシャットオフ機能が働いている際は、こて台からハンドルを取り上げるか、ⒶまたはⒷを押すことで復帰します。

7. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度等によって製品の消耗の度合いが違いますので、使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

●ブレードについて

1. メンテナンス

ブレードは酸化しにくい仕様になっていますが、酸化物が付着し作業に支障が出るような場合には、ワイヤブラシなどを軽く当て酸化物を除去して下さい。ワイヤを強く当てる、ブレードが傷付きブレードの寿命を短くする原因になりますので、必要以上のブラッシングはしないで下さい。

ブレードを高温にして長時間無負荷状態のままにしますと表面が酸化され、ヒーターに過負荷が生じ寿命を縮める原因となります。使用しない時はオートスリープに設定し、必ずごて台にハンドルを置いてください。長時間使用しない時は電源スイッチを切って下さい。

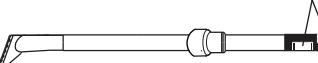
8. 点検

△警告

特に指示がない限り、下記の手順は電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて行ってください。

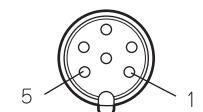
1. ヒーター切れ

この間のヒーターの抵抗値を測定します。



ヒーターに電気的異常がないことを確認してください。ヒーターの抵抗は、常温(15~25°C)で測定してください。正常値は4.6Ω±10%です。抵抗値が異常な場合には、ブレードを交換してください。

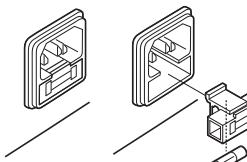
2. 接続コード断線の調べ方



1. 正常なブレード(ヒーター抵抗値が正常なもの)を両方のハンドルに付けます。
2. コネクターのピンの抵抗値を測定します。
ピン1～ピン5間 - 8.2~10Ω

抵抗値が上記の値と異なる場合はハッコーFT-8002を交換してください。

3. ヒューズ交換方法



1. 電源コードをインレットより引き抜きます。
2. ヒューズホルダーを引き抜きます。
3. 新しいヒューズと交換します。
4. ヒューズホルダーを元通りに組み立てます。

9. トラブル発生時に

△警告

● 修理を実施する際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。
● 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格のある人に交換してもらう必要があります。

● 電源スイッチを入れても動作しない。

点検：電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。
対処：電源コードまたは接続プラグを接続します。
点検：ヒューズが切れていませんか。
対処：なぜヒューズが切れたのか原因を確認し、ヒューズを交換してください。原因が分からない場合も、交換してください。再びヒューズが切れる場合、修理に出して下さい。

● H-E表示が点滅する。

点検：ブレードはしっかり差込まれていますか。
対処：ブレードを最後まで差し込んでください。
点検：接続コードが断線していませんか。
ヒーターは切れていませんか。

対処：本書の接続コード断線およびヒーター切れの項目を参照してください。

● ---が表示される。

対処：電源を入れ直してください。入れ直しても、症状が同じ場合、修理に出してください。